

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

2017春闘勝利！ JR労働者総決起集会

2月25日、横浜地本第3回地方委員会終了後、同会場において「2017 春闘勝利！JR 労働者総決起集会」を開催し、労組の垣根を越え約 90名の仲間が今集会に結集しました。

穂刈執行委員の元気の良いシュプレヒコールから始まり、松田執行委員はJR東日本の第3四半期決算では、単体・連結ともに「増収増益」となり、営業収益と運輸収入は5期連続の「増収」第3四半期決算としては「過去最高」となっている。労組の垣根を越え、会社の一人勝ちを許さないためにも職場から運動をつくりあげていくと力強くあいさつを行ないました。

また、本部交渉団を代表し生田書記長が今集会に参加をし、情宣活動を通じて会社の支払い能力があることを示し広めたことで職場の声に反応し、会社にも変化が出てきていることが見受けられる。一人ひとりのたたかいの大切さや「人と人」「取り組みと取り組み」などの「つながる」ことをテーマに共にたたかうと、3月1日に行われる第1回の団体交渉に挑むにあたっての決意が述べられました。

山口書記長の基調報告では、莫大な金額の利益剰余金に触れ、一人一行動のスローガンで掲げた目標を自分で着実に努力して会社を動かすことを目指し、分散した労働側の力を結集して、一歩前に出ようと述べました。

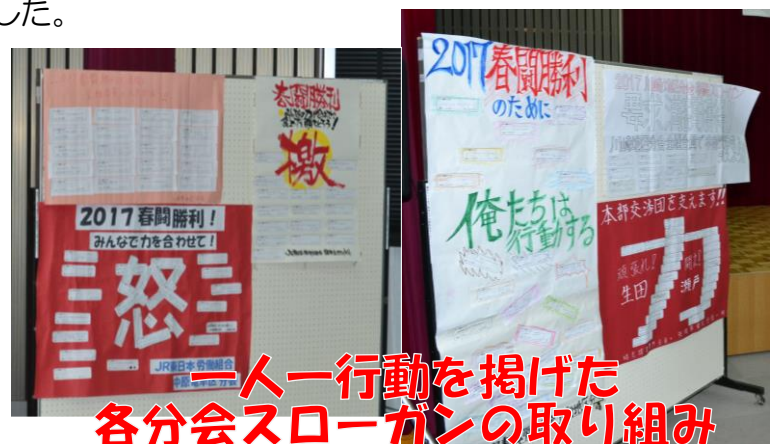
地本と8分会代表者から、2017 春闘賃上げ満額獲得に向けた決意表明が行なわれ、今春闘を最後までたたかい抜くことを参加者全体で確認しました。



穂刈執行委員による
シュプレヒコール！



鶴見線営業所分会と矢向車掌区分会
合同の本部交渉団への檄



一人一行動を掲げた
各分会スローガンの取り組み